

セントリア先端科学大学/ フィンランド共和国

Centria University of Applied Sciences/ Republic of Finland

大学紹介

1991年に設立された、産業界からの研究開発費を多く獲得しているフィンランドの私立大学。特にIT産業への貢献度が高く、キャンパスはKokkola, Jakobstad, Ylivieskaの3つがある。学生は約3,000人と小規模大学である。

学事日程

春学期: 1月～5月/ 秋学期: 8月～12月

WEBサイト

Centria University of
Applied Sciences



学べる学問

人文科学・教育、文化、社会科学・ビジネス・経営、天然資源・環境学、自然科学、ソーシャルサービス・健康・スポーツ、ツーリズム

留学条件

学部2年以上

英語 CEFR B2-C1

留学体験

大学があるコッコラは、フィンランド西岸部にあります。スウェーデン語を母語とする方も多く住んでおり、町全体の標示にフィンランド語に並んでスウェーデン語が使われています。町自体とてもコンパクトで、学校を含め必要なお店や施設は全てアパートの徒歩圏内にあります。「先端科学大学」という和名にこそなっていますが、学校制度の違いからあまり馴染んでおらず、理系分野だけでなくビジネスや言語、文化理解についての授業も充実しています。大学の規模は小さいですが国際色豊かで、特に文化に対しては実践的に学ぶ環境が整っていました。ホスト国について学ぶ授業では、学生に調査やプレゼンをさせるだけでなく、地元の会社や、公共施設、一般家庭などに赴き実践的に学ぶ形式が大部分を締めました。語学は、授業ではフィンランド語初級・中級を受講しました。定期テストや会話テストがあり、フィンランド人の学生にインタビューするという課題も出され、フィードバックがすぐに得られます。

(2015年度交換留学派遣 文教育学部 言語文化学科 グローバル文化学環 3年)